

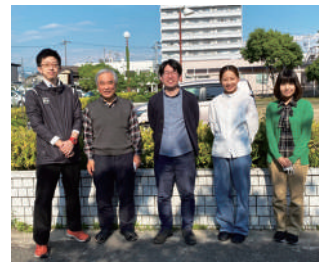
『思い思いの若者たち』

「ある社会学者の死に思う」

法人理事 布袋 太三

先日、見田宗介という社会学者が亡くなった。彼は『現代社会はどこに向かうか』などの名著を多く著し、斬新かつ大胆に未来社会を展望していた。メディアへの露出はそれほどなかったと思うが、社会学者としては長く注目されていた。私の古い友人の社会学専攻の M などは「目標にするには高すぎる山」だと、心底から傾倒していた。実は私も最近、もはや向かうべきは彼の展望するような社会だろうと考え始めていた。そこで、見田の言う「向かうべき社会」の骨子を、ほんの少しだが素描してみようと思う。彼はまず、大前提は「柔軟な軌道修正を可能にする〈自由な思想言論〉と〈民主主義的な政治システム〉」だとした。そして、そのうえで「経済の領域における〈社会主義の理念〉を活かす社会」と説いた。〈社会主義の理念〉を活かすとは「万人に最低限の物質的な生活諸条件を計画的に確保するための再分配システム」を担保するためだ。さて、こうした見田の展望の現実的な可能性はどうだろうか。少々大雑把だが、いわゆる 20 世紀末の北欧諸国の試行錯誤を精選し、ブラッシュアップすればイメージ的には近付いていくのかもしれない。ただ、実現への肝になる「分配の公正化のためのシステム」については、まだまだハードルは高いと思われる。尤も見田が言うように、現代世界では計算上は既に「全ての人々に幸福のための最低限の物質的な基本条件を配分しても、なお多大な富の余裕が存在」しているのだから、後は分配を公正に行う仕組みづくりに傾注すれば、大方の課題は解決されていくことになる。詰まるところは「思想と言論の自由を保障し、

その地域に住んでいる人々の納得する民主主義的政治システム」を最も大事にする国々が、世界中にどんどん出現すること。そして、それらの国々がこぞって「地球環境と資源の有限性への最大限の配慮」や「貧困や格差社会の克服」などを最大テーマとして協力し合う、そんな国際社会が実現すれば、それは見田のイメージにかなり接近してくると言えそうだ。そう考えると、普通の人々の知恵の結集で何やら実現可能ではないかと思えてくる。やがて、国境を越えて自由闊達に人々の交流が進み、軍事力などが全く意味を持たない国際社会へと繋がっていきそうで、こうなると想像を巡らすだけでも話は心地良い展開になっていく。ところで、現下のロシアの非道な所業を、見田が元気だったらどう語っただろう。今となっては彼の膨大な著作から類推するより他ないが、恐らく、彼は涙ながらに悲憤慷慨したに違いない。そして、こんな時に彼岸へなど逝ける訳ないじゃないかと、神仏にも当たり散らしただろうと思う。さて、見田は社会学者として地道な統計的手法を駆使し、様々な政治社会現象や人々の意識の調査分析を手掛けてきた。どの著作においても彼は豊富な語彙を自在に操り、精緻でブレない言説を実に歯切れ良く提示し続けてきた。彼の業績なら没してもなお、再び穏やかなブームに包まれるかもしれないと私は期待している。末筆ながら、読者諸氏に見田作品との出会いをお勧めしたい。



ハートツリースタッフ一覧

■南紀若者サポートステーション

- 【地本】 スタッフ同力を合わせて頑張ります
- 【向井】 久しぶりのサポステ、初心にかえって謙虚にファイト!!
- 【加藤】 1人ひとりとの出会いを大切にお手伝いしていきます
- 【南山】 これからのこと一緒に考えていきましょう
- 【岩本】 まだまだ未熟ですがよろしくお祈りします
- 【上仲】 良いきっかけづくりができるよう頑張ります
- 【岩城】 皆様の心に寄り添い支援していきたいと思えます
- 【木村】 1年間よろしくお祈りします
- 【中田】 今年も頑張ります

■若者サポートステーション With You 南紀

- 【戸田】 楽しくやってみましょう! よろしくお祈りします
- 【石黒】 よろしくお祈りします!!
- 【永井】 色々な人と関わることを楽しみにしています
- 【談儀】 できる範囲のことは精一杯させていただきます
- 【浅井】 心の面からのサポートをさせていただきます

■ひなたの森・就労支援

- 【南】 心機一転頑張ります
- 【野村】 今年も頑張ります
- 【永井】 出来る事を頑張っています
- 【浅井】 居場所を大切にしていきたいと思えます
- 【切里】 利用者さんに寄り添ってきたいと思えます

■あづまプラッツ

- 【南】 心機一転頑張ります。
- 【太田先生】 みんなとレザークラフト楽しんでいます。
- 【佐々木】 新しい環境で日々勉強しています。
- 【尾崎】 初心を忘れず頑張ります。

